

# 『日本最初の聾学校と古河太四郎先生』

京都府立聾学校同窓会理事、日本聾史学会役員：西岡正人

## 京都府立聾学校

京都府立聾学校は、京都府京都市右京区御室大内にある府立聾学校。京都府南部（京都市を含む）在住の聴覚に障害のある児童・生徒が主に学ぶ。1878（明治11）年、「京都盲啞院」として日本で最初に設立された。障害を持つ児童・生徒のための教育の場である。

### ■所在地

〒616-8092 京都府京都市右京区御室大内 4



### ■設置学部

- ・ 幼稚部 ・ 小学部 ・ 中学部
- ・ 高等部（普通科、産業工芸科、デザイン科、色染科、被服科）
- ・ その他（早期教育、聴言室、通級指導教室）

### ■歴史

- 1878（明治11）年 — 開校。
- 1889（明治22）年 — 京都市へ移管。
- 1893（明治26）年 — 聾啞生同窓会発足。
- 1925（大正14）年4月1日 — 盲・聾を分離し、京都市立聾啞学校と改称。
- 1931（昭和6）年4月1日 — 京都市府へ移管し、京都府立聾啞学校と改称。
- 1932（昭和7）年4月1日 — 京都府立聾学校へと改称。
- 1937（昭和12）年 — ヘレンケラー女史、盲・聾両校へ来訪。
- 1951（昭和26）年 — 現在地へ移転。
- 1952（昭和27）年6月16日 — 舞鶴市に盲・聾分校開設。
- 1961（昭和36）年4月1日 — 幼稚部を開設。

## 古河太四郎先生

古河太四郎。1845（弘化2）年2月20日 ~ 1907（明治40）年12月26日は、京都盲啞院（後の京都府立盲学校・京都府立聾学校）を創設し、近代日本における視覚障害教育・聴覚障害教育の黎明期をリードした教育者。



## ■ 略 歴

- 弘化 2 年 (1845 年) 京都に生まれる。
- 明治 2 年 (1869 年) 京都府待賢小学校算術教師となる。
- 明治 6 年 (1873 年) 頃 待賢校において瘖啞教育に着手する。
- 明治 11 年 (1878 年) 京都で仮盲啞院を創業。
- 明治 12 年 (1879 年) 京都盲啞院、京都府立となる。
- 明治 15 年 (1882 年) 京都府盲啞院の院長に就任。
- 明治 22 年 (1889 年) 依願免職。
- 明治 33 年 (1900 年) 私立大阪盲啞院長となる。
- 明治 40 年 (1907 年) 京都、東京の盲啞院長・盲学校長とともに盲・聾教育の義務化を上申。同年 12 月 26 日逝去 (63 歳)。
- 大正 2 年 (1913 年) 文部省図書局、『古川氏盲啞教育法』を発行。

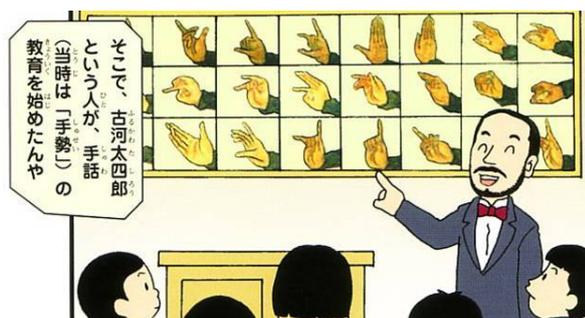


- ★ 府立京都盲啞院・初代院長 (明治 15 年 1 月 27 日 ~ 22 年 11 月 21 日)
- ★ 官立東京盲啞学校・教諭 (明治 20 年 12 月 28 日 ~ 22 年 11 月 21 日)
- ★ 私立大阪盲啞院・初代院長 (明治 33 年 9 月 1 日 ~ 40 年 12 月 26 日)

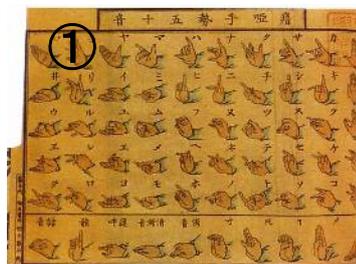
## ■ 古河太四郎先生の教育方法

### 【古河太四郎創案】

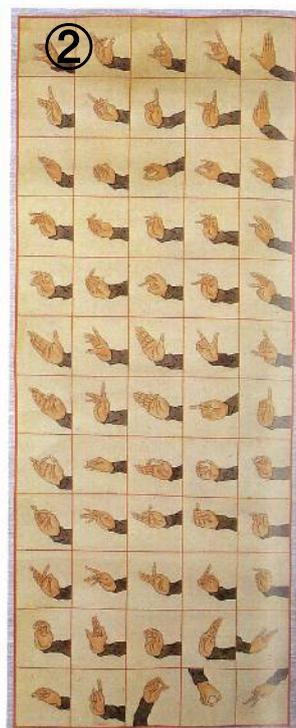
- ① 瘖啞手勢五十音 (明治 11 年)
- ② 五十音手勢 (明治 11 年)
- ③ 啞生五十音字形手勢 (明治 12 年)



- ◎手勢とは、日本語を手指で表現すること。
- ※現在の指文字や手話とは異なる。



瘖啞手勢五十音 明治11年〈京盲史料〉



五十音手勢図 明治11年〈京聾史料〉



啞生五十音字形手勢 明治12年〈京聾史料〉

## ▲モニュメント『古河太四郎先生の胸像と校舎跡の記念碑』



①古河先生の銅像



②古河先生の石像

### ▲京都府立盲学校（花ノ坊校地玄関）

①1925（大正 14）年、「盲聾啞教育開始 50 年記念式」が挙行され、全国の有志者から賛同を得て、上京区釜座通樫木町の校舎玄関前に銅像として建立されました。

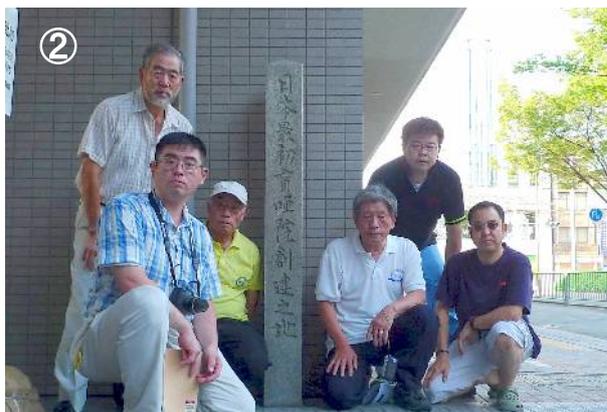
しかし、太平洋戦争が激化し、金属回収が行われる中で、1944（昭和 19）年、胸像も供出されることとなりました。

②1948（昭和 23）年、創立 70 周年を記念して、学校と同窓会の手で石像として復元し、花ノ坊校地に再建されました。



古河太四郎先生 弘化二年全国屈指の寺子屋市中西員輩に生る 少年時代文武両道修業 明治二年京都府の我国最初の小学校創設に建築し特賢校の教師となる翌三年投獄の厄に会い獄窓に聾見の惨状を口撃して盲聾教育を發起 六年復帰早速実践 懇の一心と希代の独創力による成果は維新再興の意気燃える市中組の運動を呼び 知事横村正直を動かして明治十一年五月二十四日 日本最初盲聾院を開く 後大阪盲聾院となり生涯我国盲聾教育の草創に尽された 本校創立百周年を記念して同窓会員・同先生の遺徳を偲び本像を建立す 昭和五十六年五月

▲京都府立聾学校内（玄関）に、古河先生の銅像が建っている。（昭和 56 年 5 月建立）



- ①「日本盲啞教育の始祖・古河太四郎先生之墓」盲聾教育創始 60 年を記念して、京都府立盲・聾学校同窓会と大阪市立盲・聾学校同窓会（昭和 10 年 5 月建立）。
- ②記念碑「日本最初盲啞院創建之地」創立 90 周年記念：京都府立盲・聾学校同窓会（昭和 43 年 5 月建立）



①日本盲啞教育発祥地      ②日本最初盲啞院開学地      ③日本最初盲啞院創建之地

- ①「日本盲啞教育発祥地」1873(明治 6)年、この地にあった 待賢小学校内で 聾啞教育が開始され、数年後には 盲教育も始まった。
- ②「日本最初盲啞院開学地」1878(明治 11)年には 東洞院御池上の船屋町に移転し「日本最初盲啞院」と改称。
- ③「日本最初盲啞院創建之地」翌年には 京都第二赤十字病院付近に移転し「京都市立聾啞学校」となった。

これが 日本最初の公立盲学校・聾啞学校である。その後「京都府立聾啞学校」を経て、1932(昭和 7)年「京都府立聾学校」となり、1951(昭和 26)年 右京区御室に移転し、現在に至っている。

〈参考資料〉京都府立盲・聾学校 HP、京都府立聾学校 100 周年記念写真集他  
 〈写真撮影・資料協力〉内田博幸（松本ろう同窓会事務局長、日本聾史学会役員）

# 西岡正人氏の記念講演

